

毎日ムック 2014年9月30日発売号 掲載

情熱医療 心臓カテーテル治療

プロ_{エッ}ショナル_ョドクター

Professional Doctor

M A I N I C H I M O O K

P r o f e s s i o n a l D o c t o r

医療法人 疾風会

わかまつインターベンションクリニック

病院 最 前 線 2015

情熱医療
心臓カテーテル治療
プロシカドクター
Professional Doctor

オープンシステムや迅速な対応、居心地のいい空間づくりなど 循環器疾患のエキスパートとして医療の「あるべき姿」を追求する



阿部 亘

理事長・院長

あべ・わたる

1983年、山形大学医学部卒業。北里大学病院循環器内科、静岡赤十字病院、清水厚生病院循環器内科を経て、96年、竹田総合病院循環器内科医長。99年、清水厚生病院循環器内科診療部長。2000年、海老名総合病院付属東病院循環器内科科長。01年、赤心堂病院循環器内科部長。02年、わかまつインターベンションクリニック開院、院長。03年、医療法人疾風会設立、理事長。05年、現在地に新築移転

開かれた医療の実践で
ベストを尽くす姿を見てもらう

「自分の思い描いていた医療やサービスを行いたい」と思い、2002年に病院から心臓の部分があるまま抜け出した形で循環器疾患に特化した冠動脈治療を行うクリニックを開設しました」とわかまつインターベンションクリニックの阿部亘院長は話す。

開院にあたって、病院や医療の「あるべき姿」を実現するためイメージしたポイントの第1が、開かれた医療の追求だ。患者の家族が手術室を見渡せる待機室に入り、カテーテル検査・治療のすべてを見てもらう。「このオープンシステムについて、患者さんや家族からは『何一つ隠さずにベストを尽くして一生懸命

やっている』と評価していた声が目立つ」と評している。

そうしたインフォームド・コンセントの徹底は、豊富な経験と実績に裏付けられているといつても過言ではない。同クリニックでは、2013年1月～12月で402件のカテーテル治療を行っている。「開院当初が年間170件で、それ以来着々と実績を積み上げてきました。2014年は年間450件程度を行う予定です」と阿部院長はカテーテル治療のエキスパートとしての自信を述べる。

地域のホームドクターとして パートナリシップを確立

同院の第2の特徴は、クリニック入りしてから治療に至るまでの導線の短さだ。院内ではコーディネーターが患者を丁寧、適切に案内する。心筋梗塞などの救急患者については、到着してからカテーテル治療に至るまで、治療スタッフには迅速な対応を徹底している。

また、クリニックの空間づくりにこだわり、温かみのあるオレンジの

建物の1階は、高い天井が魅力のホールのエントランスホールのような受付カウンター、待合室となっている。

「居心地のいい空間とファミリーな感じを尊重しています。だからこそ、優秀なスタッフによるチーム医療を実践し、患者や家族との強いパートナリシップを確立できる。「先生と一生お付き合いしたいという患者さんに恵まれています。そんな言葉を聞くと、医者をやっていてよかったとつくづく感じます。患者さんとずっとお付き合いできるのは至福です。もちろん整形外科などの他の疾患でお悩みの方は、専門医をご紹介するようにしています。地域のホームドクターとしての役割をこれからも果たしていきます」と阿部院長は笑顔で力強く語った。



(上)2006年3月の開院以来、2014年7月までに3,600件近いカテーテル治療を行っている。十数年の付き合いというスタッフも含めたチーム医療には自信があります(阿部院長) (左)04列CT(コンピュータ断層撮影法)などの先端機器を導入し、常に新しい医療にチャレンジしています (右)開放感あふれるクリニック空間が患者の心を和ませる

医療法人 疾風会
わかまつインターベンションクリニック
福島県会津若松市
一箕町大字亀賀字北柳原25-1
TEL.0242-32-1558
www.wakamatsu-intervention-clinic.com/
診療科目：循環器内科、内科、心臓血管外科
診療時間：9:00～18:00
休日：火・日・祝

